

みんなの学びプロジェクト 概要版

宇治市教育委員会・宇治市校長会

1 宇治市が目指す子どもにつけたい力

- ◆ 現在、生産年齢人口の減少、グローバル化の進展や絶え間ない技術革新等により、社会構造や雇用環境は大きく、また急速に変化しており、予測困難な時代となっています。
- ◆ 一人ひとりが持続可能な社会の担い手として、その多様性を原動力とし、質的な豊かさを伴った個人と社会の成長につながる新たな価値を生み出すことが求められています。更に、次期学習指導要領の検討においては「自らの人生を舵取りする力」を培い、変化の激しい社会において「持続可能な社会の創り手」となり、「多様性を包摂し、可能性を開花させる」ことが大切であると考えられています。
- ◆ また、特に学習面においては、「主体的・対話的で深い学びの実装」が大切であり、生成AI等先端デジタル技術が急激に進化している昨今において、その活用能力を高め、思考力、判断力、表現力等を発揮する中で、生きて働く「知識・技能」を習得すること、学びに向かう力、人間性を育成することが一層重要となってきます。
- ◆ そこで、宇治市では、「自分で考え、自分から取り組む人に」を掲げ、ただ言われたことをやる、教えてもらったことを覚えるだけでなく、生涯にわたって主体的に学習し、多様な他者と協働しながら自らの人生を舵取りすることができる子どもたちの育成を目指します。

2 宇治市の現状

- ◆ 現在、全国学力・学習状況調査、京都府学力・学習状況調査～学びのパスポート～、宇治市統一学力調査～学びのステップアップ～等、各種「学力調査」において、主体的な学びに関わる質問調査項目に課題が見られます。
- ◆ 多様な特性、個性、背景を有する児童生徒が一層増加すると予想される昨今において、学力低位層はもとより、全ての子どもたち一人ひとりに応じた、多様で質の高い学びの場を創出する必要があります。

3 学力に関わる向上目標の設定

- ◆ 学力向上においては、学力調査での教科調査における正答率の向上を、最終的な指標としますが、その過程として、どのようにして、「学びの質的改善」を行っていくべきかに着目する必要があります。
- ◆ 多様な子どもたちの「主体的・対話的で深い学び」を確かなものにしていくためには、Diversity (ダイバーシティ/多様性)、Equity (エクイティ/公平性)、Inclusion (インクルージョン/包摂) の考え方を踏まえた、「全ての子どもにとって分かりやすく、学びやすい学習者主体の学び」を実現する、学びのユニバーサルデザインの考えに基づく「学びのデザイン」が重要です。
- ◆ 宇治市では、「多様な学びの場創造事業」として、これらの観点から、「多様な子どもが等しく学ぶことができる機会、環境を創造する」、そのために、「全ての子どもたちが大切にされ、誰一人取り残されない教育の実現を目指す」研究を進めてきており、研究の成果を踏まえ、宇治市教育委員会が方向性を定めて作成した「インクルーシブ教育の理念の実現へ 宇治市の指標」基盤とした「学びの環境デザイン」における項目を学力向上と密接に関連づいた向上目標として設定します。
- ◆ また、「インクルーシブ教育の理念の実現」においては、「学習指導と生徒指導の一体化」という概念を特に重視します。
- ◆ 子どもたち一人ひとりが人として尊重されている、安心・安全な風土は、全ての子どもにとって分かりやすく、学びやすい学習者主体の学びにつながると同時に、全ての子どもにとって分かりやすく、学びやすい学習者主体の学びをデザインすることが、子どもたち一人ひとりが人として尊重されている、安心・安全な風土につながると考えるからです。

4 全ての子どもたちのための、全ての教職員によるプロジェクト

- ◆ 宇治市の新しい学力プラン「みんなの学びプロジェクト」は、全ての子どもたちが大切にされ、誰一人取り残されない教育の実現を目指し、全ての子どもたちをその対象とします。
- ◆ 子どもたち一人ひとりが、「自らの人生を舵取りする力」を身に付け、「持続可能な社会の創り手」となり、「多様性を包摂し、可能性を開花」させるため、教職員が、子どもたちの輝かしい未来の実現に向け、それぞれの小中学校が、自校の実態に応じて、創意工夫を凝らした教育を実践するため、そのための土台づくりが、全ての子どもたちのための、全ての教職員による宇治市「みんなの学びプロジェクト」です。

【目指す姿】

自分で考え 自分から取り組む人に

【5つの向上目標】

- ☆ 全ての子どもと教職員の信頼関係の構築
- ☆ 全ての子どもの「やりたい」「必要」を活かした単元構想
- ☆ 全ての子どもに「気付く」「考える」「表現する」活動の確保と一人ひとりに応じた工夫と手立て
- ☆ 全ての子どもがともに高め合う協働的な学び
- ☆ 全ての教科で「振り返り」を重視

